

第 3 次平塚市新型コロナウイルス感染症総合対策（補完版）

（案）

○総合対策の視点

- ・本市では、新型コロナウイルス感染症（以下、「感染症」）に対応するため、令和 4 年 3 月に「第 3 次平塚市新型コロナウイルス感染症総合対策」（以下、「第 3 次総合対策」）を策定し、喫緊の課題への対応策を取りまとめるとともに、国の 1 6 か月予算と歩調を合わせた感染症対策を講じています。
- ・感染症の第 7 波にあつて、感染症対策に万全を期するため、9 月市議会定例会において、補正予算を上程し更なる対策を講じるため、第 3 次総合対策に位置づけた取組のうち、強化すべき取組を充実させます。
- ・本対策においては、第 3 次総合対策を踏まえ、第 7 波に対応するための感染防止策や、まちの経済・市民の暮らしを支えるための取組を拡充するほか、地域におけるデジタル化・グリーン化を促進するとともに、デジタル技術を活用した行政サービスを展開します。
- ・国が示す感染症の特性や対応を踏まえながら、感染症の再拡大へ対応するとともに、ポストコロナの社会への対応も見据えて、補強した第 3 次総合対策を推進してまいります。

【総額 約 1 4 . 6 億円】

（主な財源）

- ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 約 1 . 5 億円
- ・その他国庫補助金等 約 8 . 7 億円

- 1 感染症の再流行へ備えるために
- 2 コロナ危機の中でも社会経済を回し続けるために
- 3 ポストコロナを見据え、その先のまちづくりを進めるために

1 感染症の再流行へ備えるために

873,434 千円

◇基本的な方向性◇

感染症の第6波、更にその後の再流行への対策として、医療・救急体制を確保するため、市民病院、消防・救急隊における感染症対策に取り組むとともに、公共施設の感染防止や災害対応力の強化にも取り組みます。

◆補強の視点◆

感染症の第7波へ対応するため、これまでの対策に加え、オミクロン株対応ワクチンの接種体制の構築、救急隊等における感染症対策の実施、公衆トイレの手洗器を非接触型に更新するほか、感染リスクの高い高齢者施設の事業継続に向けて、各施設の従業員の連携支援に取り組みます。

(1) 医療・救急体制を確保する

○ワクチン接種・検査体制を整える

社会機能を維持するため、オミクロン株対応ワクチンの接種に向けた準備を進めるとともに、福祉や子育て施設、消防救急等のエッセンシャルワーカーに対して抗原検査キットを配布し、早期の職場復帰を図ります。また、医師会を通して医療現場に抗原検査キットを配布します。

【既存予算】 【健康課】 — (千円) (抗原検査キットの確保、配備)

【9月補正】 【健康課】 868,560 (千円) (接種体制の確保、接種等)

◇主な経費

・オミクロン株対応ワクチン等の接種費用……………868,560 (千円)

868,560 (千円)

○救急隊等における感染症対策に取り組む

救急体制をより強固なものにするため、救急隊等が使用するゴム手袋、消毒用エタノール、ガーゼなど感染症対策資機材を追加配備します。また、救急隊員の2次感染及び同乗者への感染防止対策を確立するため、救急車内を殺菌する「オゾン殺菌装置」の消耗品交換及び保守点検を行います。

【9月補正】 【消防総務課】 2,539 (千円)

◇主な経費

・感染症対策資機材購入費……………1,728 (千円)

・オゾン殺菌装置の消耗品交換及び保守点検手数料……………811 (千円)

2,539 (千円)

(2) 感染防止策を組み入れて施設・事業を運営する

○高齢者施設における事業継続を支援する

感染リスクの高い高齢者施設において、感染症拡大時の事業継続性を確保するため、施設職員が感染し人員に不足が生じた際に、法人間で職員派遣を行う連携体制の整備を図ります。法人間連携に伴い派遣された職員が、派遣先で感染した場合の補償のため、傷害保険に加入することにより、法人間の連携体制を後方支援します。

【9月補正】【高齢福祉課】450（千円）

◇主な経費

- ・法人間連携に伴う傷害保険料（10人分）……………450（千円）

450（千円）

○はたちのつどい（旧成人式）における感染症対策に取り組む

密を避けるための2部制による分散開催、感染リスクを考慮して来場できない市民に向けたオンライン配信による開催を進めるとともに、消毒液及び非接触検温器の設置や身体的距離を確保するため着席形式とすることで、感染防止を図ります。

【9月補正】【青少年課】994（千円）

◇主な経費

- ・式典運営費……………734（千円）
- ・消毒液等購入費……………178（千円）

994（千円）

○公衆トイレにおける感染症対策に取り組む

接触機会を減らすとともに、衛生環境を向上させるため、公衆トイレの手洗器を非接触型へ更新し、感染防止を図ります。

【9月補正】【収集業務課】891（千円）

◇主な経費

- ・平塚駅北口公衆トイレ手洗器非接触化修繕費……………258（千円）
- ・紅谷町駐車場公衆トイレ手洗器非接触化修繕費……………327（千円）
- ・須賀港公衆トイレ手洗器非接触化修繕費……………306（千円）

891（千円）

◇基本的な方向性◇

まちの経済を支えるため、ひらつか☆スターライトポイントを再度発行し、「新しい生活様式」に対応した地域経済の循環を促進するとともに、生産性の向上を伴う企業のデジタル化や脱炭素化につながる取組を支援します。また、コロナ危機における市民の暮らしを支えるため、雇用の確保や新生児への臨時特別給付に取り組むほか、地域のつながり・絆を深めるため、自粛せざるを得なかった地域団体や市民活動団体等の活動を支援します。

◆補強の視点◆

経済活動の再開に向けた支援や市民の暮らしを支えるため、これまでの対策に加え、ひらつか☆スターライトマネーの還元率引き上げ、安全な授乳環境の確保のほか、デジタル技術を組み入れたスマートライスセンターの整備支援や公共交通の脱炭素化に向けた電気バスの導入支援に取り組むとともに、地域の交流活動の再開を更に後押しします。

(1) 経済活動の再開を支援する

○キャッシュレス決済を普及推進する

市域で利用可能な電子マネー（ひらつか☆スターライトマネー（以下「マネー」））を利用した市民に対し、20%分のマネーの還元を行うことで、市内経済の消費喚起を図り、物価高騰の影響を受けている市民・市内事業者を支援します。

【9月補正】【産業振興課】236,970（千円）

◇主な経費

- ・マネー還元率 20%

※毎月、マネー利用額 5 万円分までは還元率 20%、5 万円分を超過する分は 3%を還元
236,970（千円）

○スマートライスセンターの整備を支援する

コロナ危機などの不測の事態においても、市民に対して安定的に食糧を供給できる体制を確保するため、デジタルデータの活用を始めとする先進技術を取り入れながら、効率的に米の生産を担うライスセンターの新規整備を支援します。

【9月補正】【農水産課】236,500（千円）

◇主な経費

- ・スマートライスセンターの整備を担う法人への補助金……………236,500（千円）

236,500（千円）

○公共交通の脱炭素化を支援する

市内路線バス事業者等に対し、事業継続・拡大の後押しと脱炭素社会の実現を目指し、電気バスの導入経費の一部を補助します。

【9月補正】【交通政策課】24,250（千円）

◇主な経費

- ・電気バス車両本体及び充電設備の導入に対する補助金……………24,250（千円）
24,250（千円）

（2）市民の暮らしを支える

○安全な授乳環境を確保する

コロナ危機における子育て支援として、簡易に設置できる授乳室を配備し、イベント時も活用することで、子育て世帯が快適に利用でき、かつ、安心・安全な授乳環境を確保します。

【9月補正】【中央図書館】2,914（千円）

◇主な経費

- ・設置型授乳室1台……………2,914（千円）
2,914（千円）

○自立支援に取り組む

官民連携による生活困窮者の支援体制等を検討するためのプラットフォームを設置するとともに、生活困窮者支援を行う地域のNPO法人等の活動経費を補助します。

【9月補正】【福祉総務課】4,591（千円）

◇主な経費

- ・NPO法人等への補助金……………4,500（千円）
4,591（千円）

○子育て世帯生活支援特別給付金を支給する

令和4年度子育て世帯生活支援特別給付金の対象外となった、低所得かつ令和5年3月に出生する新生児等を育てる世帯に対し、給付金を支給します。

【9月補正】【こども家庭課】2,016（千円）

◇主な経費

- ・子育て世帯生活支援特別給付金（新生児等追加分）、児童一人あたり50千円
2,016（千円）

(3) 地域のつながり・絆を深める

○地域活動の再開を支援する

感染症の影響下において、地域団体等が開催するイベント経費等に対する追加助成を通して、地域団体の活動や交流再開を更に後押しします。

【9月補正】 協働推進課 1,332 (千円)

◇主な経費

- ・自治会等の地域活動団体、1団体あたり上限200千円

1,332 (千円)

3 ポストコロナを見据え、その先のまちづくりを進めるために

79,739 千円

◇基本的な方向性◇

感染症が収束したポストコロナを見据え、地域経済のデジタル化・グリーン化を促進するため、スマート農業の導入や企業の脱炭素化を支援します。また、デジタル技術を活用した行政サービスを展開するため、デジタル人材の育成、キャッシュレス決済の推進、窓口の利便性の向上、情報格差の是正対策に取り組むとともに、教育環境や子育て相談における ICT の活用を促進します。

◆補強の視点◆

ポストコロナの社会を見据え、これまでの対策に加えて、デジタル技術を組み入れたスマートライスセンターの整備支援や公共交通の脱炭素化に向けた電気バスの導入支援に取り組むとともに、マイナンバーカードの取得促進、更なるキャッシュレス化の促進、デジタル人材の育成、窓口の利便性の向上を図るほか、生活困窮世帯の学習支援を拡充します。

(1) 地域経済のデジタル化・グリーン化を促進する

○キャッシュレス決済を普及推進する【再掲】

市域で利用可能な電子マネー（ひらつか☆スターライトマネー（以下「マネー」））を利用した市民に対し、20%分のマネーの還元を行うことで、市内経済の消費喚起を図り、物価高騰の影響を受けている市民・市内事業者を支援します。

【9月補正】【産業振興課】236,970（千円）

◇主な経費

・マネー還元率 20%

※毎月、マネー利用額 5 万円分までは還元率 20%、5 万円分を超過する分は 3%を還元
236,970（千円）

○スマートライスセンターの整備を支援する【再掲】

コロナ危機などの不測の事態においても、市民に対して安定的に食糧を供給できる体制を確保するため、デジタルデータの活用を始めとする先進技術を取り入れながら、効率的に米の生産を担うライスセンターの新規整備を支援します。

【9月補正】【農水産課】236,500（千円）

◇主な経費

・スマートライスセンターの整備を担う法人への補助金……………236,500（千円）

236,500（千円）

○公共交通の脱炭素化を支援する【再掲】

市内路線バス事業者等に対し、事業継続・拡大の後押しと脱炭素社会の実現を目指し、電気バスの導入経費の一部を補助します。

【9月補正】【交通政策課】24,250（千円）

◇主な経費

- ・電気バス車両本体及び充電設備の導入に対する補助金……………24,250（千円）
24,250（千円）

○マイナンバーカードの取得を促進する

マイナンバーカードの普及促進を図るため、令和4年10月以降にマイナンバーカードを初めて申請し、令和5年2月末までに取得した市民を対象にスターライトマネーを付与します。また、マイナンバーカードを活用したノーライト化（申請書の記入省略化）の対象範囲を拡大します。

【9月補正】【マイナンバー推進課】59,798（千円）

◇主な経費

- ・スターライトマネー付与対象 10,000人（上限）×5千円=50,000（千円）
- ・マイナンバーカード対応自動申請書作成システム構築…………… 9,798（千円）
59,798（千円）

○生活困窮世帯等の学習支援に取り組む

生活困窮者世帯等の高校生を対象とした学習支援事業の会場において、wi-fi環境やタブレットを活用することで、リモート学習を含めた自主学習の環境を整えます。

【9月補正】【生活福祉課】3,481（千円）

◇主な経費

- ・子どもの学習支援委託料…………… 3,481（千円）
3,481（千円）

（2）デジタル技術を活用した行政サービスを展開する

○デジタル人材の育成と窓口の利便性向上を図る

デジタル化の取組を主体的に実行できるデジタル人材の育成に向けて、業務改革（BPR）作業の一環として庁内業務量調査を実施します。また、接触機会の減少と市民の利便性向上を図るため、国民健康保険税などの口座振替の登録をオンラインで受け付ける「Web口座振替受付サービス」の機能を拡充します。

【9月補正】【デジタル推進課】6,985（千円）

【保険年金課】3,833（千円）

◇主な経費

- ・庁内業務量調査委託料……………6,985（千円）
10,818（千円）

○新型コロナワクチン接種における自治体間の情報連携を図る

予防接種に関する情報を中間サーバーに連携し、転入出した方の予防接種歴の他自治体への速やかな提供、他自治体からの速やかな入手を行います。

【9月補正】 【デジタル推進課】 4,648（千円）

【健康課】 994（千円）

◇主な経費

・システム改修経費……………5,642（千円）

5,642（千円）

【内訳】

9月補正予算……………1,461,746（千円）

■合計■ 1,461,746（千円）